

## 教育・保育の「量の見込み」について

- ◎ 前回会議で提示した「教育・保育の量の見込み（暫定値）」（別紙参照）のうち、「①3号認定（うち0歳児のみ）の量の見込み」について、事務局より、「現状とかい離し上振れしているのではないか」との問題を提起し、ご意見を伺ったところであるが、以下の理由により、特段の補正（下方修正）は行わないこととしてはどうか。

## &lt;理由&gt;

- ニーズ調査結果を基に算出した量の見込みは、平成 27 年度から 31 年度までの各年度におけるニーズのピークに相当すると言える。（必ずしも、各年度における 4 月 1 日時点のニーズに相当するとは言えない。）
- 前回会議資料では、平成 27 年度以降の量の見込みと、平成 25 年 4 月 1 日時点の保育所等利用人数（待機児童含む）を比較していたが、特に 0 歳児については、年度終盤に保育所入所児童数・入所待ち児童数が増加する。
- この中には年度途中で 1 歳となる児童も含まれるが、確保方策（施設整備の目標設定）においては、年度途中で 1 歳となる児童も 0 歳児（0 歳児クラス対象児童）として取り扱う必要がある。

## &lt;平成 26 年度の場合&gt;

平成 26 年 3 月時点の 0 歳児数	7,358 人 (A)
平成 26 年 3 月時点の 0 歳児保育所入所（待ち）児童数	1,921 人 (B)
0 歳児に占める保育所入所（待ち）児童の割合（= B / A）	<u>26.11%</u>

- この 26.11%と前回提示した量の見込み（31.5%）との差は、0 歳児保育のニーズの高まりとみることができる範囲のものであると考えられる。

＜参考：平成26年3月時点における保育所入所（待ち）児童数＞

①0歳児

	推計児童数 26.3.31 (A)	入所（待ち）児童数 26.3.1 (B)	割合 (B/A)
中央区	1,723	460	26.70%
花見川区	1,283	338	26.34%
稲毛区	1,220	310	25.41%
若葉区	1,103	240	21.76%
緑区	1,140	226	19.82%
美浜区	1,069	347	32.46%
全市	7,358	1,921	26.11%

②1・2歳児

	推計児童数 26.3.31 (A)	入所（待ち）児童数 26.3.1 (B)	割合 (B/A)
中央区	3,487	1,014	29.08%
花見川区	2,732	682	24.96%
稲毛区	2,449	798	32.58%
若葉区	2,200	692	31.45%
緑区	2,483	617	24.85%
美浜区	2,423	1,011	41.73%
全市	15,774	4,814	30.52%

③3～5歳

	推計児童数 26.3.31 (A)	入所（待ち）児童数 26.3.1 (B)	割合 (B/A)
中央区	5,126	1,613	31.47%
花見川区	4,066	1,091	26.83%
稲毛区	4,067	1,330	32.70%
若葉区	3,504	1,169	33.36%
緑区	3,887	1,014	26.09%
美浜区	4,060	1,568	38.62%
全市	24,710	7,785	31.51%